【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第７部門第３区分
【発行日】平成30年9月27日(2018.9.27)

【公表番号】特表2017-531939(P2017-531939A)
【公表日】平成29年10月26日(2017.10.26)
【年通号数】公開・登録公報2017-041
【出願番号】特願2017-515236(P2017-515236)
【国際特許分類】
Ｈ０４Ｌ　12/66　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　21/85　(2013.01)
Ｈ０４Ｍ　11/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｈ０４Ｌ　12/66　Ｂ
Ｇ０６Ｆ　21/85
Ｈ０４Ｍ　11/00　３０１

【手続補正書】
【提出日】平成30年8月14日(2018.8.14)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
デバイスから受信される値のもっともらしさをチェックする方法であって、
現在の時刻の瞬間での前記デバイスの近くのデバイスによって、前記デバイスの現在の出力値及び前の出力値を受信することと、
前記デバイスの前記近くのデバイスによって、前記デバイスの前記現在の出力値と前記前の出力値との間の値の漸進的変化が前記値の漸進的変化によってもっともらしくないと判定することと、
を含む方法。
【請求項２】
前記デバイスの前記近くのデバイスによって、前記デバイスから前の時刻の瞬間での前記デバイスの前の近くのデバイスのネットワークアドレス指定情報及び前の出力値が受信されることと、
前記デバイスの前記近くのデバイスによって、前記前の近くのデバイスのそれぞれにコンタクトすることと、
前記デバイスの前記近くのデバイスによって、前記前の近くのデバイスからアクノリッジを受信することと、
前記デバイスの前記近くのデバイスによって、前記前の近くのデバイスから受信した肯定的なアクノリッジの数が、アクノリッジのしきい値に達しない場合、前記デバイスが嘘をついていると判定することと、
を含む、請求項１に記載の方法。
【請求項３】
前記ネットワークアドレス指定情報は、ＩＰアドレス、又は前記ＩＰアドレス及びポート番号、又はデバイスＩＤ、前記ＩＰアドレス及び前記ポート番号を備える、請求項１に記載の方法。
【請求項４】

前記デバイス及び前記デバイスの前記近くのデバイスは、ＧＰＳデバイスであり、前記デバイスの前記現在の出力値は、現在の時刻の瞬間でのＧＰＳ位置の値であり、前記デバイスの前記前の出力値は、前の時刻の瞬間でのＧＰＳ位置の値であるか、又は、
前記デバイス及び前記デバイスの前記近くのデバイスは、ホームゲートウェイであり、前記デバイスの前記現在の出力値は、現在の時刻の瞬間での平均オピニオン評点であり、前記デバイスの前記前の出力値は、前の時刻の瞬間での平均オピニオン評点である、請求項１乃至３のいずれか１項記載の方法。
【請求項５】
デバイスから受信した値のもっともらしさをチェックする方法であって、前記デバイスによって、前記デバイスのネットワークアドレス指定情報及び現在の出力値に基づいて分散ハッシュテーブルにおいて第１のハッシュアドレスを計算し、
前記デバイスによって、分散ハッシュテーブルにおいて複数の現在の近くのデバイスを決定し、
前記デバイスによって、前記デバイスの前記現在の出力値及び前記デバイスの前の出力値を前記決定された複数の現在の近くのデバイスに通知し、前記現在の出力値及び前記前の出力値は、前記デバイスの前記現在の出力値の前記もっともらしさを判定するために使用される、方法。
【請求項６】
前記デイバスの前記現在の出力値の前記もっともらしさを前記決定された複数の現在の近くのデバイスのそれぞれによって前記チェックすることが、
前記決定された複数の現在の近くのデバイスのそれぞれによって、前記通知された現在の出力値と前記通知された前の出力値との間の値の漸進的変化が値の漸進的変化のしきい値より大きいかどうかを判断することと、
前記決定された複数の現在の近くのデバイスのそれぞれによって、前記値の漸進的変化が値の漸進的変化のしきい値より大きい場合に、前記デバイスの前記値の漸進的変化はもっともらしくないと判定することと、
を含む、請求項５に記載の方法。
【請求項７】
前記デバイスによって、前記デバイスの前の近くのデバイスのネットワークアドレス指定情報を前記決定された複数の現在の近くのデバイスに通知することを含み、
前記デバイスの前記現在の出力値の前記もっともらしさを前記決定された複数の現在の近くのデバイスのそれぞれによってチェックすることは、さらに、
前記決定された複数の現在の近くのデバイスのそれぞれによって、前記前の近くのデバイスのそれぞれとコンタクトすることと、
前記決定された複数の現在の近くのデバイスによって、前記前の近くのデバイスから受信した肯定的なアクノリッジの数が、アクノリッジのしきい値に達したかどうか判定することと、
前記決定された複数の現在の近くのデバイスのそれぞれによって、前記前の近くのデバイスから受信した肯定的なアクノリッジの数がアクノリッジのしきい値に達しない場合、前記デイバスは嘘をついていると判定することと、
を含む、請求項５に記載の方法。
【請求項８】
前記ネットワークアドレス指定情報は、ＩＰアドレス、又は前記ＩＰアドレス及びポート番号、又はデバイスＩＤ、前記ＩＰアドレス及び前記ポート番号を含む、請求項５に記載の方法。
【請求項９】
前記デバイス及び前記デバイスの前記近くのデバイスがＧＰＳデバイスであり、前記デバイスの前記現在の出力値は、現在の時刻の瞬間でのＧＰＳの位置の値であり、前記デバイスの前記前の出力値は、前の時刻の瞬間でのＧＰＳの位置の値であるか、又は、
前記デバイス及び前記デバイスの前記近くのデバイスがホームゲートウェイであり、前

記デバイスの前記現在の出力値は、現在の時刻の瞬間での平均オピニオン評点であり、前記デバイスの前記前の出力値は、前の時刻の瞬間での平均オピニオン評点である、請求項５乃至８のいずれか一項に記載の方法。
【請求項１０】
デバイスから受信した値のもっともらしさをチェックするためのチェックするデバイスであって、前記チェックするデバイスは、現在の時刻の瞬間での前記デバイスの近くのデバイスであって、
前記デバイスの現在の出力値及び前の出力値を受信する受信モジュールと、
値の漸進的変化によって、前記デバイスの前記現在の出力値及び前記前の出力値との間の前記値の漸進的変化がもっともらしくないか判定するプロセッサと、
を備える、チェックするデバイス。
【請求項１１】
前記受信モジュールは、前記デバイスから前の時刻の瞬間での前記デバイスの前の近くのデバイスのネットワークアドレス指定情報及び前の出力値並びに前記デバイスの前の近くのデバイスからアクノリッジをさらに受信し、
前記前の近くのデバイスから受信した肯定的なアクノリッジの数がアクノリッジのしきい値に達しない場合、前記デバイスが嘘をついているとさらに判定する、
請求項１０に記載のチェックするデバイス。
【請求項１２】
請求項１乃至９の少なくとも１項記載の方法のステップを実行するためのプログラムコード命令を含み、通信ネットワークからダウンロード可能、及び／又はコンピュータによって読取可能な媒体上に記録され、及び／又はプロセッサによって実行可能な、コンピュータプログラム。
【請求項１３】
非一時的コンピュータ読取可能媒体上に記録され、プロセッサによって実行される能力を備え、請求項１乃至９の少なくとも１項記載の方法のステップを実行するためのプログラムコード命令を含む、コンピュータプログラムを備えた、非一時的コンピュータ読取可能媒体。